

# 黒目 60年からさらに前進 公契約制定、実増を確信に

【黒目・書記・堀田祐子通】2月18日ホテル雅叙園東京で黒目支部結成60周年記念旗開きを開催し、来賓57人、組合員105人が参加しました。



力を合わせて鏡開き  
条を守る市民や立憲主義勢力とともに国民の命と暮らしを守る共闘を前進させる決意を述べました。

ら、諸先輩の活動をつげつぎ、建設労働者の要求実現にむけた闘い、教訓をいかして今日に至った。アスベスト訴訟では基金設立に向け大きな局面を迎え、昨年末には黒目区公契約条例が制定、組織拡大では、8年ぶりの実増を勝ち取れた感謝を述べるとともに、憲法9条を守る市民や立憲主義勢力とともに国民の命と暮らしを守る共闘を前進させる決意を述べました。

## 労働者ファーストで 都議会開会日に要求コール

2月21日、都議会開会に合わせて、都民要求実現全都連絡会は都庁前で昼休み集会を行いました。250人(東京土建は75人)が参加しました。



大きなボードを持って参加する

祝賀会として、ランチをいただきながら、来賓の祝辞や首藤さん率いる南部合唱団のうたを聞き、青年部大抽選会では一等のメロン・蟹・トースターを引き当てたのは国保の丸山副理事長でした。最後は藤澤副委員長の十絡めで閉会しました。

地評事務局長は「都はスウェーデンの国家予算に匹敵する予算規模。大規模開発中心ではなく、都民の生活中心の予算編成を要求する。小池知事は『残業ゼロ』『介護離職ゼロ』など7つのゼロを掲げているが、築地市場存続も含めて公約を守ってもらいたい」と述べました。決意表明した松本久人東京土建賃金対策部長は、五輪関連現場の賃金実態などを説明しながら、「労働者ファーストの都政を」と訴えました。また参加者に2月4日の建設労働者集会の内容を伝える「けんせつ」を配布しました。

## 労災保険 メリット制を継続 労基署交渉で是正させる

【江東・書記・実川英治記】石綿で中皮腫になった組合員が労災申請し、2カ月というスピードで労災認定になりました。組合員も支部も安堵していたら、労基署から「最終ばく露事業所が労災保険のメリット対象事業所なので料率が変更になり、保険料が大幅



ボードを掲げコールする東京土建の参加者

## 首相は戦争あおるな 国会へ向け怒りのコール

2月19日、議員会館前で月例の総がり行動(主催・同実行委員会)が行われ、1800人(東京土建からは50人)が参加し、安倍政権へ抗議の声をあげました。国会では衆議院予算委員会が行なわれており、連帯のスピーチをした佐々木隆博衆議院議員(立民)は「国会では森友問題も労働法制改革も政府は嘘のデータに基づき答弁をしていたことが明らかになった。佐川長官は国会で答弁すべきであり、労働法制改革

## 働き方改革法案ノ 遺族が過労死実態を発言

【労働対策部・須賀哲也記】2月10日に全労連会館にて約200人(東京土建17人)の

にアップ」という電話が入りました。支部では労基署に詳細をたずねても「労災認定規定にしたがっている」というだけ。本部にも連絡し調査した資料をもとに本部、支部の書記局で労働局交渉をはじめました。私たちの主張は「建設労災保険は現場保険なのに、事業所として適用したのではない

## 潰すな「どんぐり山」 三鷹市役所前でアピール

【三鷹武蔵野・書記・須藤学記】2月6日、三鷹市役所前に「年金で入れる三鷹市立の特養老人ホームをつぶさないで」と



三鷹武蔵野支部で配ったメッセージ入りの「甘栗」

三鷹市役所前に「年金で入れる三鷹市立の特養老人ホームをつぶさないで」とのメッセージを配り、市民40人が集まり、アピールしました。三鷹武蔵野支部からも13人が参加して、三鷹市立の「どんぐり山」を守れというメッセージをつけて「甘栗」とピラを配り付けて多くの方から注目を集めました。巨大アピールボードも用意して、市役所前に一列に並んで「どんぐり山を閉鎖しないで」と、バスに乗客や通行人にアピールしました。

## 今月の主張

### 佐川長官は国会で説明を

確定申告が始まった2月16日、千人を超える市民が「納税者一揆」として東京・霞が関の財務省・国税庁を包囲し、森友問題での虚偽答弁が明らかになった佐川宣寿国税庁長官の罷免などを訴えました。森友学園への国有地払い下げを巡る価格引き下げに関して、昨年の国会で佐川長官(当時・理財局長)は資料は廃棄した。記録は残っていない」「価格交渉は不十分」と指摘される事態になっていました。「こそごとと逃げ回る佐川長官が職にとどまることは、国税職員にも責任をたれ一人とっていないのは異常な事態です。

の矛先が向けられています。国民の財産である国有地を、特定の学校法人に法外な安値で売却した責任をたれ一人とっていないのは異常な事態です。

佐川氏は、全国の税理士会員へのメッセージとして「納税者や税理士の皆様から信頼される組織運営」適正・公平な課税・徴収の実現に努めてまいります」と述べています。しかしこのまま虚偽答弁への説明をせず、逃げ回るのであれば、納税者・国民から信頼など得られないことは明らかです。

なぜ佐川氏は事実を隠してきたのか、国民の財産を出来るだけ安く売却しようとした背景は何なのか、説明が待たれます。佐川氏の証人喚問なしの幕引きは許されません。

市立の特養老人ホームとして、月額約8万円で購入できる「どんぐり山」をつぶして、月に18万円かかる民間施設を建設するという市の説明に「誰でも入れる老人ホームを残してほしい」「待機者が300人もいる高齢者施設をなくすのは絶対に反対」と多くの市民が公的責任の放棄と納得していません。午後からは、各会派への要請行動にも取り組みました。